

別添6：プロジェクトレベルPNAのフォーマット例（1）

不安定要因	①プロジェクトに影響を与えると考えられるが、プロジェクトで対応策を講じることはできない要因			対応策
	(例) 反政府勢力との和平交渉の停滞			継続してモニタリング
不安定要因	②ポジティブインパクト ③ネガティブインパクト ④負の影響	調査項目	調査上の留意点（手法、情報源を含む）	対応策
	(例) すぐ帰還できないIDPがいる可能性があり（身寄りが無いなど）、定住プロセスないしはコミュニティ再生プロセスから取り残される可能性	(例) 帰還パターンおよび定住の進捗確認 (例) 帰還・定住の阻害要因の分析	(例) 特別のニーズを抱えているIDPについては個別で聞き取りを実施	(例) 特別のニーズを抱えている人たちの帰還を促進する活動を実施
	(例) フォーマルの行政と伝統的統治体制が併存している	(例) フォーマルの行政と伝統的統治体制の現状	(例) 行政官のみならず、伝統的指導者からも聞き取りを行う	(例) 行政官のみならず、状況次第で伝統的指導者を巻き込むよう留意する
	(例) C/Pが職場にいない	(例) C/Pが現場に移る見込み		(例) IDPの帰還推進のためには、C/Pが果たす役割の重要性やC/Pが日々現場にいることが不可欠であることをC/Pに説明
安定要因	⑤安定要因の活用	調査項目		対応策（あれば）
	(例) 局地紛争であったため、当該国の行政制度は崩壊していない	(例) 行政の現状		(例) 既存の行政制度・組織を活用する